

消防本部からのお知らせです。

# イベント会場等におけるガソリンやプロパンガス 使用上の留意事項

## ◎ガソリンの特性

- ・ガソリンは自動車などの燃料としてなくてはならないものですが、その取扱いや貯蔵方法を誤ると、火災や爆発などを起こす大変危険なものです。ガソリンの特性を認識し、貯蔵取扱には十分注意しましょう。

## ◎ガソリンの性質

- ・引火点が $-40$ 度程度と低い。⇒ **極めて引火しやすい。**
- ・揮発しやすく、その蒸気(ガス)は空気より重いため低所に滞留し、可燃性の雰囲気や広範囲に形成されやすい。⇒ **小さな火源でも爆発的に燃焼する。**
- ・流動の際に発生する静電気が溜まりやすい。⇒ **静電気を発生しやすい。**

## ◎貯蔵・取扱いの注意事項

- ・**ガソリンを取り扱っている周辺で火気や火花を発生する機械器具などを使用しない。**
- ・静電気による着火を防止するため、**金属製の容器で貯蔵する**とともに、地面に直接置くなどして静電気の蓄積を防ぎましょう。また、**消火器を必ず用意**しましょう。
- ・取扱いや貯蔵は、ガソリン容器から蒸気が漏れないように、蓋を密栓するとともに、通風及び換気が良く直射日光の当たらない火気から離れた場所で行いましょう。  
※特に夏場はガソリン温度が上がって蒸気圧が高くなる可能性があることに注意しましょう。
- ・取扱いの際には、**蓋をあげる前に圧力調整弁を操作するなどして圧力を下げ**、容器の操作方法に従い、こぼれ・あられなどが無いように細心の注意を払きましょう。  
※万一、漏れてしまった場合は少量であっても回収を行うとともに、周囲の火気使用禁止や立入りの制限が必要となります。
- ・ガソリン使用機器の取扱い説明書などに記載された安全上の留意事項を遵守し、**エンジン稼働中の給油は絶対に行わない**でください。



## ◎プロパンガスなどの使用について

- ・火気器具を使用する屋台などでガスコンロなどを使用する場合は、関係法令を遵守するとともに**消火器を設置**してください。
- ・ガス漏れを防ぐためにゴムホースなどは器具接続部分をホースバンドなどで締め付けるとともに、適正な長さとし、ひび割れなどの劣化がないか点検してください。
- ・プロパンガスボンベは、直射日光の当たらない通気性の良い場所に設置し、**転倒しないように固定**してください。



(問合先)  
津幡町消防本部予防課  
電話：288-3000